

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和5年3月29日

提出区分	実績	整理番号	4	課題区分	C			
横断的な課題	信州まつもと空港の利用促進と空港を活用した観光地域づくり							
地域重点政策	信州まつもと空港を活かした観光振興						松本地域振興局	
実施機関	松本空港管理事務所			担当課	所属	松本空港管理事務所		
事業名	信州まつもと空港賑わい創出事業				電話	0263-58-2517(8-554-66)		
					E-mail	matsukuuko@pref.nagano.lg.jp		
事業の概要等	目的 (目指す姿)	「信州まつもと空港の発展・国際化に向けた取組方針」に定める「観光・賑わいの拠点としての活用」を推進することにより、空港及び周辺地域の魅力向上を図る。						
	現状と課題	県で実施したアンケート調査結果によると、空港利用者数のおよそ8割が自家用車利用者である。そのため、正月、GW、お盆等の繁忙期は、空港駐車場が満車となり利用者の利便性が損なわれる状況がみられる。また、新型コロナウイルス感染症の影響で空港利用者数の減少が長引いており、空港利用者数の回復のための賑わい創出が必要である。						
	内容 (変更後の内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・シャトルバスを運行するアルピコ交通との共同によりシャトルバス利用者への特典を用意し、そのことの周知を図り、シャトルバス利用者数の増加により自家用車利用者数を抑え空港駐車場の混雑回避につなげる。 ・新型コロナウイルス感染症等により、空港利用者が少ないような状況に関係なく、いつでも松本空港の航空機の離発着状況をインターネット上で見られるようにすることにより、空港への親しみや興味関心を持ってもらうため、ライブカメラを設置する。 ・多くの人に松本空港への興味を持ってもらい、空港をより身近に感じてもらえるように空港カードを作成し、空港イベント時等に活用する。 <p>【前回変更点】</p> <p>イベント時等に活用する空港カード及びクリアファイルについて、発注部数及び仕様の変更に伴う予算の増</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当 初:空港カード10種類×2,000枚×7.05円=141,000円 クリアファイル3,000枚×47.3円=141,900円 合計282,000円 ・変更後:空港カード10種類×2,000枚×8.60円=172,000円 クリアファイル2,000枚×73.0円=146,000円 合計318,000円 (既配当282,000円△36,000円) <p>【変更点】</p> <p>ライブカメラ映像をコマ送り画像ではなく、跡切れのない映像として配信するための機器を設置するための増</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当 初:0円→変更後30,000円(既配当内で執行) 						
	事業期間	R4.4			～	R5.3		
事業費等	(単位:円)							
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考				
	松本空港利用促進事業	ライブカメラ設置、ノベルティ作成	1,065,999	需用費318,000円(仕様等の変更による増、映像交換機器購入)、工事費748,000円(入札による減)				
	合計		1,065,999					
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況			
	シャトルバス利用者数(R4年度)		23,060人	29,048 (R5.2末現在)	● 達成			
	空港イベント参加率(参加者数/参加募集数×100)		90%	97.8	○ 一部達成			
	定期便等利用者数(R4年度)		140,000人	206,434 (R5.2末現在)	○ 未達成			
事業実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・空港カード及びおクリアファイルについては概ね計画通りに作成・設置することができた。作成したノベルティについては空港シャトルバス利用者等に配布し、松本空港や松本空港シャトルバスのPRのために活用した。 ・滑走路ライブカメラについては、ユーチューブにライブ映像をアップしているが、R5.3.8現在で1,120人がチャンネル登録しており、様々な人に松本空港を知ってもらう機会となっている。 ・空港見学会(6月45人、7月52人、8月46人、10月50人(定員50人))、スカイフェスティバル(9月179人(定員180人))について、新型コロナウイルス感染症対策を取りながら開催した。定員に対してかなり多くの方から参加希望をいただいた。 							
今後の方向性	今年度、空港イベントへの参加申込みが定員を大きく上回ることが多く、また、コロナの扱いの変更もあることから、来年度以降は空港イベントの開催方法等を見直し実施していく。							